

品質改善委員会

キューピー仙川工場の事例紹介と工場見学『夢多"採り活動の推進』



工場概要ほかの説明をいただく篠原工場長

夢多"採り活動とは

03年5月の大事故をきっかけに、足りなかったこと(工場・職場・個人の目標。コミュニケーション。すべて総合職が考えていた)を反省し、一人ひとりが主役になり、自らの夢(ありたい姿)や想いを実現するための夢多"採り活動(=夢をたくさん採る+無駄を取る)をスタートした。何よりも大切だったのは、強烈な工場長トップの想い。03年から始めて今年で6年目。トップは3回代わったが、熱い想いは変わらずに受け継がれている。

改善活動の組織と活動

プロジェクトリーダーの工場長をトップに、各部署より2~3年目の若手を毎年2~3名任命。分析手法のスキルやマインドアップのための改善勉強会・実践会・発表会を実施している。

夢多"採り活動推進のポイント

トップの強い想いと理解を表明、学習する機会・場を設けること、楽しくやる・進歩する[しかけ][しくみ]にする、コミュニケーション力を上げて聴きだす・聴く、個人改善からチーム活動へ誘導、感謝の気持ちを忘れない

5年間の改善実績

無駄が多かった動線やマヨネーズを運ぶ配管を自分たちの手で溶接・加工等、08年までの改善実績は約4,600件。工程トラブルとクレーム件数も1/3に減少。今や同活動は本体9工場のほか、関連会社工場や営業管理部門にまで広がっている。

夢多"採り活動についての紹介の後、1分間に600個の卵を割る割卵機や、充填機でマヨネーズをボトルに詰めるラインを説明を受けながら見学。最後は各参加者より時間まで活発な質問がなされ、関心の高さが伺えた。

(文責 事務局)